

令和8年度年間指導計画

岩手県立岩手高等学校

教科	国語	学年	2	教科書	高等学校 論理国語 (第一学習社)
科目	論理国語	クラス	βコース	副教材	漢字マスター(第一学習社) 基礎現代文1+(尚文出版)
		単位数	2	担当者	小笠原 友幸

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学習方法	・授業において自ら考え、また、周りの生徒と協働して考える活動を行う。 ・プリントや副教材等を利用し、授業内容についての理解を深める。 ・毎時間小テストを実施し、読解力の定着を図る。 ・自らの学習を振り返り自己評価するとともに、相手の意見や主張について考え相互評価する。				
学習評価	評価の観点	評価の趣旨			
	a 知識及び技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。			
	b 思考力・判断力・表現力	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			
	c 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉の効果的に使おうとしている。			
定期考査については、上記 a, b の観点それぞれについて、学習内容に応じて適切に配分しています。					

学期	単元(題材)	学習活動	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	①評論(一) 『天然知能として生きる』	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。	○			読書の意義と効用を理解する。	①授業態度 ・発言 ・取り組み ②課題提出 ・提出状況 ・取り組み ③小テスト ④定期考査
				○		筆者が定義する「天然知能」について把握し、これからの人間の知性のあり方について考えを深めている。	
			○		内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。		
				○	文章を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成と論理の展開を捉え、要旨をまとめようとしている。		
前期末	②評論(二) 『私』中心の日本語』	・具体例と主張との関係を整理して論理構成を把握する。 ・筆者が主張する日本語の特徴を理解する。	○			情報と情報との関係について理解を深める。	①授業態度 ・発言 ・取り組み ②課題提出 ・提出状況 ・取り組み ③小テスト ④定期考査
				○		内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。	
			○		根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。		
				○	筆者が説明する「私」と「公」との関係を表や図を用いて積極的に整理しようとしている。		
後期中間	③評論(三) 『手の変幻』	・筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理する。 ・主張に説得力をもたせるための論展開について考える。	○			情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。	①授業態度 ・発言 ・取り組み ②課題提出 ・提出状況 ・取り組み ③小テスト ④定期考査
				○		筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理している。	
			○		主張に説得力をもたせるための論展開について考えている。		
				○	「欠落」や「無」が重要な役割を果たしている芸術作品の例について積極的に調べている。		
後期末	④推論 『推論とは何か』	・推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。 ・文章を分析し、さまざまな観点から概要をまとめる方法を学ぶ。	○			推論のしかたについて理解し、活用する方法を学んでいる。	①授業態度 ・発言 ・取り組み ②課題提出 ・提出状況 ・取り組み ③小テスト ④定期考査
				○		文章を分析し、さまざまな観点から概要をまとめる方法を学んでいる。	
			○		内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する方法を学んでいる。		
				○	推論の種類の違いを把握し、それぞれの事例について積極的に考え、その妥当性を検討しようとしている。		

後期中間	⑤評論(四) 『働かないアリの意義がある』	・アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造を読み取る。 ・論理の展開を的確に捉え、筆者の主張を理解する。	○			語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	①授業態度 ・発言 ・取り組み ②課題提出 ・提出状況 ・取り組み ③小テスト ④定期考査
				○		内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。	
			○		アリの生態を紹介しながら人間社会の問題点について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述している。		
				○	積極的に筆者の主張をふまえ、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。		
後期末	⑥評論(五) 『なぜ多様性が重要か』	・動的平衡という視点から生態系を捉える筆者の主張を把握する。 ・生物多様性が重要な理由について考察する。	○			語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。	①授業態度 ・発言 ・取り組み ②課題提出 ・提出状況 ・取り組み ③小テスト ④定期考査
				○		文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深めている。	
			○		「生物多様性が重要だ」という筆者の主張を基に、自分の考えを論述したり発表したりしている。		
				○	生物多様性の必要性について述べた本文を粘り強く読み、学習課題に沿って内容の理解を深めようとしている。		
後期中間	⑦評論(六) 『コミュニティ空間としての都市』	・情報の分析に基づく論理展開と対比構造を把握する。 ・将来の社会のあり方を構想する広い視野を培う。	○			文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深めている。構成や展開のしかたについて理解を深めている。	①授業態度 ・発言 ・取り組み ②課題提出 ・提出状況 ・取り組み ③小テスト ④定期考査
				○		将来のあり方について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。	
			○		内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。		
				○	「都市型コミュニティ」の中の居場所について、積極的に考えている。		
後期末	⑧読み比べ 『対話の意味』 『身体的表現の関係性』	・コミュニケーションをテーマとした文章を読み比べ、書き手の立場や目的の考えながら内容を解釈する。 ・両者を比較しながら考えをまとめる。	○			情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理している。	①授業態度 ・発言 ・取り組み ②課題提出 ・提出状況 ・取り組み ③小テスト ④定期考査
				○		文章に関連した題材について、さまざまな観点から自分の考えを論述したり発表したりしている。	
			○		「おしゃべり」と「対話」の違いを整理しながら、内容の理解を深めようとしている。		
				○	本文を粘り強く読み、「身体的コミュニケーション」の特徴を学習課題に沿ってまとめようとしている。		

評価の重み付け

学期	評価の観点	重み付け	考査	考査以外
前期中間	知識・技能	35	25	10
	思考・判断・表現	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
前期末	知識・技能	35	25	10
	思考・判断・表現	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期中間	知識・技能	35	25	10
	思考・判断・表現	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期末	知識・技能	35	25	10
	思考・判断・表現	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30

令和8年度年間指導計画

岩手県立岩泉高等学校

教科	国語	学年	2	教科書	標準古典探究(第一学習社)
科目	古典探究	クラス	βコース	副教材	重要古語315(桐原書店) ミクサ古典文法(数研出版) 基礎古典1+(尚文出版)
		単位数	2	担当者	鈴木 果菜子

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ることができる。 ・目的など場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させることができる。 ・必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させることができる。 ・近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させることができる。 ・言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けることができる。 	
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○授業において自ら考え、周りの生徒と協働して考える活動を行う。 ○プリントや副教材等を利用して、授業内容についての理解を深める。 ○毎時間小テストを実施し、語彙力の定着を図る。 ○自らの学習を振り返り自己評価するとともに、相手の意見や主張について考え相互評価する。 	
学習評価	評価の観点	評価の趣旨
	a 知識及び技能	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付け、文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
	b 思考力・判断力・表現力	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	c 主体的に学習に取り組む態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
定期考査については、上記 a, b の観点それぞれについて、学習内容に応じて適切に配分しています。		

学期	単元(題材)	学習活動	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	説話 「平中が事」(古今説話集)	・平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、平中の色好みと端を発する滑稽話のおもしろさを味わう。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	○	○	○	a 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 c 積極的に説話を読み、滑稽味のある内容について理解しようとしている。	①授業態度 ・発言 ・取り組み ②課題提出 ・提出状況 ③小テスト ④定期考査
	故事・寓話 「嬰逆鱗」	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・漢文の訓読に慣れる。	○	○	○	a 訓読の決まりについて理解を深め、語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 b 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深めている。 c 故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	
前期末	物語(一) 「初冠」(伊勢物語)	・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえるながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。	○	○	○	a 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b 歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 c 歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を理解しようとしている。	①授業態度 ・発言 ・取り組み ②課題提出 ・提出状況 ③小テスト ④定期考査
	漢詩の鑑賞 「鹿柴」「絶句」「蛾眉山月歌」「春夜」「臨洞庭」「遊山西村」(中国の詩)	・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の文人が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	○	○	○	a 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b 漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 c 漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。	

後期中間	和歌 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」	・わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、黎明期の和歌を鑑賞する。 ・和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。	○	○	○	a 和歌の修辭などの表現の特色について理解を深めている。 b 和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉えている。 c 題詞や歌の背景を参考にしながら作品に表れている情景や心情を読み取り、和歌を積極的に鑑賞しようとしている。	①授業態度 ・発言 ・取り組み ②課題提出 ・提出状況 ③小テスト ④定期考査
	三国志の世界 「死諸葛亮生仲達」(十八史略)	・諸葛亮と司馬懿の心理戦を味わうとともに、二人の人物像への理解を深める。 ・史伝という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	○	○	○	a 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b 諸葛亮と司馬懿の心理戦を味わうとともに、二人の人物像への理解を深めている。 c 諸葛亮と司馬懿の言動を粘り強く読み取り、その意図やその時の心情を説明しようとしている。	
後期末	随筆(二) 「すさまじきもの」(枕草子)	・作者が取り上げている事物や対象、経験などを通して、当時の人のものの見方や考え方に触れる。	○	○	○	a 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b 清少納言が取り上げている事物や対象、経験などを通して、当時の人のものの見方や考え方に触れている。 c 随筆に表れたものの見方、考え方を積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	①授業態度 ・発言 ・取り組み ②課題提出 ・提出状況 ③小テスト ④定期考査
	不思議な世界 「亮鬼」(撰神記)	・本文に見られる鬼の特徴をまとめる。 ・宋定伯の知恵が読み取れる言動を整理する。	○	○	○	a 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c 宋定伯の知恵が読み取れる言動について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	

評価の重み付け

学期	評価の観点	重み付け	考査	考査以外
前期中間	知識・技能	35	25	10
	思考・判断・表現	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
前期末	知識・技能	35	25	10
	思考・判断・表現	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期中間	知識・技能	35	25	10
	思考・判断・表現	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期末	知識・技能	35	25	10
	思考・判断・表現	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30

令和8年度年間指導計画

岩手県立岩泉高等学校

教科	地理歴史	学年	2	教科書	世界史探究 詳説世界史 (山川出版社)
科目	世界史探究	コース	βコース	副教材	グローバルワイド世界史図表 (第一学習社)
		単位数	4	担当者	吉田 大樹

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を学び、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の獲得を目指す。	
学習方法	(1)生徒が単元にテーマを設定し、課題探究的な学習をベースとする。副教材と小テストで日常的に知識理解を図る。 (2)生徒が単元の学習に、学習内容が可視化できる教具を活用したり、ICT機器を活用したりしながら学習する。 (3)生徒が主体的かつ対話的で深い学びを促すために、ペアワークやグループワークを随時利用して学習する。 (4)生徒が現代における社会的事象の「見方・考え方」と、歴史的な「見方・考え方」をつなげられるように学習する。 (5)生徒が日本との関連や、現代社会におけるグローバルな課題と、世界の歴史の推移との関わりを学習する。	
学習評価	評価の観点	評価の趣旨
	a 知識及び技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
	b 思考力・判断力・表現力	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
	c 主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
定期考査については、上記 a, b, c の観点それぞれについて、学習内容に応じて適切に配分しています。		

学期	単元(題材)	学習活動	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	世界史へのまなざし 第1章 諸地域の歴史的特質の形成	1 自然環境と人類の進化 2 文明の誕生 3 古代メソポタミア文明とその周辺 4 南アジアの古代文明 5 中国の古代文明 6 北アメリカ文明	○	○	○		①授業態度・小テストの実施 ②授業成果物の出来ばえ ③課題・レポート等の提出 ④定期考査と解き直し(復習)
	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	1 中央ユーラシア 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成	○	○	○	a: 古代国家と社会や文化の特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。古代国家と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報についてまとめ、活用している。 b: 古代国家と社会や文化の特色から課題を見だし、その過程や結果を適切に考察したり、表現したりしている。 c: 古代国家と社会や文化の特色に関する関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。	①授業態度・小テストの実施 ②授業成果物の出来ばえ ③課題・レポート等の提出 ④定期考査と解き直し(復習)
	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開	○	○	○		①授業態度・小テストの実施 ②授業成果物の出来ばえ ③課題・レポート等の提出 ④定期考査と解き直し(復習)
	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 キリシヤ人の都市国家 3 ローマと地中海世界 4 キリスト教の成立と発展	○	○	○		①授業態度・小テストの実施 ②授業成果物の出来ばえ ③課題・レポート等の提出 ④定期考査と解き直し(復習)
	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ社会の形成	1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成	○	○	○		①授業態度・小テストの実施 ②授業成果物の出来ばえ ③課題・レポート等の提出 ④定期考査と解き直し(復習)
後期中間	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向	○	○	○	a: イスラーム世界やヨーロッパ中世世界の社会や文化の特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。また、それに関する諸資料を収集し、有用な情報についてまとめ、活用している。 b: イスラーム世界やヨーロッパ中世世界の社会や文化の特色から課題を見だし、その過程や結果を適切に考察したり、表現したりしている。 c: イスラーム世界やヨーロッパ中世世界の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。	①授業態度・小テストの実施 ②授業成果物の出来ばえ ③課題・レポート等の提出 ④定期考査と解き直し(復習)
	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	1 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2 東ヨーロッパ世界の展開 3 西ヨーロッパ世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化	○	○	○		①授業態度・小テストの実施 ②授業成果物の出来ばえ ③課題・レポート等の提出 ④定期考査と解き直し(復習)
後期末	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	1 アジア諸地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国	○	○	○	a: 近世国家と社会や文化の特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。近世国家と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報についてまとめ、活用している。 b: 近世国家と社会や文化の特色から課題を見だし、その過程や結果を適切に考察したり、表現したりしている。 c: 近世国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。	①授業態度・小テストの実施 ②授業成果物の出来ばえ ③課題・レポート等の提出 ④定期考査と解き直し(復習)
	第9章 大交易・大交流の時代	1 アジア交易世界の興隆 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	○	○	○		①授業態度・小テストの実施 ②授業成果物の出来ばえ ③課題・レポート等の提出 ④定期考査と解き直し(復習)
	第10章 アジアの諸地域と繁栄	1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域	○	○	○		①授業態度・小テストの実施 ②授業成果物の出来ばえ ③課題・レポート等の提出 ④定期考査と解き直し(復習)

評価の重み付け

学期	評価の観点	重み付け	考査	考査以外
前期中間	知識及び技能	40	30	10
	思考力・判断力・表現力	30	15	15
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
前期末	知識及び技能	40	30	10
	思考力・判断力・表現力	30	15	15
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期中間	知識及び技能	40	30	10
	思考力・判断力・表現力	30	15	15
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期末	知識及び技能	40	30	10
	思考力・判断力・表現力	30	15	15
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30

令和8年度年間指導計画

岩手県立岩泉高等学校

教科	公民	学年	2	教科書	公共 (東京法令出版)
科目	公共	コース	βコース	副教材	なし
		単位数	2	担当者	竹谷 涼太

学習目標	① 現代の諸課題を見つめることを通じて、グローバル化する国際社会、多様化する身近な社会の形成者として、またよりよい社会の構築や人間としての在り方や生き方についての自覚を深めることができる。 ② 課題解決のための選択や判断に資する見方・考え方を養い、公共的な空間に生き国民民主権を担う公民としての資質・能力を育成することができる。	
学習方法	(1) 単元の基軸となる問いを設定し、生徒自身による「問いを表現する」機会も設定する。 (2) ピアワークを展開し、主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動を重視した授業を行う。 (3) 生徒の将来像を意識して、DXに対応したICT授業をよりいっそう推進する。 (4) 現代の諸課題に関するさまざまな資料を通して、社会的事象における「見方・考え方」や公民的な「見方・考え方」を働かせる。	
学習評価	評価の観点	評価の趣旨
	a 知識及び技能	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
	b 思考力・判断力・表現力	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
	c 主体的に学習に取り組む態度	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参画、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。
定期考査については、上記 a, b, c の観点それぞれについて、学習内容に応じて適切に配分しています。		

学期	単元(題材)	学習活動	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第1編 第1章 公共的な空間をつくる私たち	① 社会のなかの私たち ② 日本の文化と社会 ③ 青年期とは ④ 自己形成の課題 ⑤ ライフ・キャリアの形成 ⑥ 社会の多様性 ⑦ 宗教と文化	○	○	○	a: 選択・判断の手掛かりとして、個人や社会全体の幸福、公正などの義務を重視する考え方を理解している。諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能が身に付いている。	1 定期考査、小テスト 2 活動状況(ペアワーク等) 3 課題プリント等の提出
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方・生き方	① 幸福とは ② 自由とは ③ 正義とは ④ 公正とは	○	○	○	b: 公共的な空間における基本原理について、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。社会に参画する自立した主体としての自覚を深めている。	1 定期考査、小テスト 2 活動状況(ペアワーク等) 3 課題プリント等の提出
	第3章 公共的な空間における基本原理と日本国憲法	① 人間の尊厳と平等 ② 民主政治と国民主権 ③ 清極的自由と公共の福祉 ④ 積極的自由と義務 ⑤ 法の支配と人権保障 ⑥ 平和主義	○	○	○	a: 諸資料から、必要な情報・知識を適切に収集、理解し、要旨を読み取り、まとめる技能が身に付いている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題に、合意形成や社会参画を意識して、協働して考察・構想したり、論拠をもって表現したりしている。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。社会に参画する自立した主体としての自覚を深めている。	1 定期考査、小テスト 2 活動状況(ペアワーク等) 3 課題プリント等の提出
前期末	第2編 第1章 日本の政治機構と政治参加	① 法の機能と限界 ② 国会の運営と権限 ③ 内閣と行政の民主化 ④ 世界の政治体制 ⑤ 裁判所と人権保障 ⑥ 私法と裁判 ⑦ 地方自治のしくみ ⑧ 選挙のしくみと課題 ⑨ 政党政治 ⑩ 国民と政治参加	○	○	○	a: 諸資料から、必要な情報・知識を適切に収集、理解し、要旨を読み取り、まとめる技能が身に付いている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題に、合意形成や社会参画を意識して、協働して考察・構想したり、論拠をもって表現したりしている。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。社会に参画する自立した主体としての自覚を深めている。	1 定期考査、小テスト 2 活動状況(ペアワーク等) 3 課題プリント等の提出
	第2章 経済のしくみ	① 経済活動と私たちの生活 ② 市場のしくみ ③ 市場の失敗 ④ 現代の企業 ⑤ 国民所得 ⑥ 景気変動と物価の動き ⑦ 財政の役割 ⑧ 財政の課題 ⑨ 企業のしくみと働き ⑩ 中央銀行と金融の自由化	○	○	○	a: 諸資料から、必要な情報・知識を適切に収集、理解し、要旨を読み取り、まとめる技能が身に付いている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題に、合意形成や社会参画を意識して、協働して考察・構想したり、論拠をもって表現したりしている。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。社会に参画する自立した主体としての自覚を深めている。	1 定期考査、小テスト 2 活動状況(ペアワーク等) 3 課題プリント等の提出
後期中間	第3章 変化する日本経済	① 戦後復興から高度経済成長へ ② 安定成長からバブル経済へ ③ バブル後の日本経済 ④ 日本の中小企業 ⑤ 日本の農業問題 ⑥ 公害の防止と環境保全 ⑦ エネルギーと循環型社会	○	○	○	a: 諸資料から、必要な情報・知識を適切に収集、理解し、要旨を読み取り、まとめる技能が身に付いている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題に、合意形成や社会参画を意識して、協働して考察・構想したり、論拠をもって表現したりしている。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。社会に参画する自立した主体としての自覚を深めている。	1 定期考査、小テスト 2 活動状況(ペアワーク等) 3 課題プリント等の提出
	第4章 豊かな生活の実現	① 私たちの生活と契約 ② 消費者主権 ③ 労働者の権利 ④ 現代の雇用・労働問題 ⑤ 社会保障の役割 ⑥ 社会保障制度の課題	○	○	○	a: 諸資料から、必要な情報・知識を適切に収集、理解し、要旨を読み取り、まとめる技能が身に付いている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題に、合意形成や社会参画を意識して、協働して考察・構想したり、論拠をもって表現したりしている。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。社会に参画する自立した主体としての自覚を深めている。	1 定期考査、小テスト 2 活動状況(ペアワーク等) 3 課題プリント等の提出
	第5章 国際政治のしくみと銅鑑	① 国家主権と国際法 ② 人権保障の広がり ③ 国際連合の役割と課題 ④ 第二次世界大戦後の国際社会 ⑤ 冷戦終結後の国際社会 ⑥ 人権・民族・難民問題 ⑦ 核兵器の廃絶と国際平和 ⑧ 日本の安全保障の現状	○	○	○	a: 諸資料から、必要な情報・知識を適切に収集、理解し、要旨を読み取り、まとめる技能が身に付いている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題に、合意形成や社会参画を意識して、協働して考察・構想したり、論拠をもって表現したりしている。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。社会に参画する自立した主体としての自覚を深めている。	1 定期考査、小テスト 2 活動状況(ペアワーク等) 3 課題プリント等の提出
後期末	第6章 国際経済のしくみと動向	① 貿易と国際分業 ② 外国為替のしくみと国際収支 ③ 戦後国際経済の枠組みと変化 ④ グローバル化する経済	○	○	○	a: 諸資料から、必要な情報・知識を適切に収集、理解し、要旨を読み取り、まとめる技能が身に付いている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題に、合意形成や社会参画を意識して、協働して考察・構想したり、論拠をもって表現したりしている。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。社会に参画する自立した主体としての自覚を深めている。	1 定期考査、小テスト 2 活動状況(ペアワーク等) 3 課題プリント等の提出
	第7章 国際社会の現状と課題	① 地域統合の進展 ② 南北問題 ③ 新興市場国 ④ 地球規模の諸課題 ⑤ 地球環境問題 ⑥ 日本の役割	○	○	○	a: 諸資料から、必要な情報・知識を適切に収集、理解し、要旨を読み取り、まとめる技能が身に付いている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題に、合意形成や社会参画を意識して、協働して考察・構想したり、論拠をもって表現したりしている。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。社会に参画する自立した主体としての自覚を深めている。	1 定期考査、小テスト 2 活動状況(ペアワーク等) 3 課題プリント等の提出
	第3編 持続可能な社会をつくるために	① 民主主義を考えよう ② 日本の将来問題 ③ 科学技術の進展 ④ 外国人との共生	○	○	○	総合: 現代の諸課題から、その課題の解決に向けて事実を基に協議して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。	1 定期考査、小テスト 2 活動状況(ペアワーク等) 3 課題プリント等の提出

評価の重み付け

学期	評価の観点	重み付け	考査	考査以外
前期中間	知識及び技能	40	30	10
	思考力・判断力・表現力	30	15	15
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
前期末	知識及び技能	40	30	10
	思考力・判断力・表現力	30	15	15
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期中間	知識及び技能	40	30	10
	思考力・判断力・表現力	30	15	15
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期末	知識及び技能	40	30	10
	思考力・判断力・表現力	30	15	15
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30

令和8年度年間指導計画

岩手県立岩泉高等学校

教科	数学	学年	2年	教科書	最新 数学Ⅱ (数研出版)
科目	数学Ⅱ	クラス	βコース	副教材	3ROUND 数学Ⅱ・B (数研出版) チャート式 基礎と演習 数学Ⅱ・B
		単位数	4	担当者	五日市 純哉

学習目標	① 複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法の基本的な問題を解くことができる。 ② 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを世の中の事象に活用し、数学的に考察することができる。 ③ 数学的な見方や考え方の良さを認識し、自身の考えを表現して仲間と協力しながら問題を解決することができる。	
学習方法	① 授業において自ら考え、また、周りの生徒と共同で考えるグループワークやペアワークを行う。 ② 課題ノートを作成し、授業内容についての課題に取り組む。また、週末や長期休業等の課題に取り組む。 ③ 授業終了時または開始時に、授業内容の復習及び課題内容の理解度を測るための評価テストを行う。	
学習評価	評価の観点	評価の趣旨
	a 知識及び技能	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
	b 思考力・判断力・表現力	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
	c 主体的に学習に取り組む態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
定期考査については、上記 a, b の観点それぞれについて、学習内容に応じて適切に配分しています。		

学期	単元(題材)	学習活動	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	1章 式と証明	式の展開と因数分解	○	○	○	【a】 ・式の特徴を捉えて適切に公式を用いることができる。 ・分数式の演算ができ、因数分解や解の公式の意味を理解して、方程式の解を求めることができる。 ・因数定理を用いて高次方程式を解くことができる。 【b】 ・式の特徴や関係を理解し、考察することができる。 ・等式や不等式について、根拠を正しく示した上で証明することができる。 【c】 ・式の演算や性質及び新しい数に関心を持ち、展開や因数分解、証明などを、具体的な事象の考察に活用しようとする。	① 授業態度 (1) 発言 (2) 取組状況 (3) 評価テスト ② 課題提出 (1) 提出状況 (2) 取組状況 ③ 定期考査
		二項定理	○	○	○		
		分数式の計算	○	○	○		
	2章 複素数と方程式	複素数	○	○	○		
		2次方程式の解と判別式	○	○	○		
		解と係数の関係	○	○	○		
		整式の割り算	○	○	○		
前期末	3章 図形と方程式	因数定理・高次方程式	○	○	○		
		等式・不等式の証明	○	○	○		
		直線上と平面上の点	○	○	○		
		直線の方程式	○	○	○		
		2直線の関係	○	○	○		
後期中間	4章 三角関数	円の方程式	○	○	○	【a】 ・図形や式の特徴を数学的に捉えて、表現・処理することができる。 ・図形と式の原理・法則などを体系的に理解し、様々な値を求めることができる。 【b】 ・直線や円の方程式等の仕組みを理解し、図形と方程式の関係を多面的に考察、表現することができる。 【c】 ・図形や式の関連に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用しようとする。	① 授業態度 (1) 発言 (2) 取組状況 (3) 評価テスト ② 課題提出 (1) 提出状況 (2) 取組状況 ③ 定期考査
		三角比・一般角	○	○	○		
		三角関数	○	○	○		
		弧度法	○	○	○		
		三角関数の相互関係	○	○	○		
		三角関数のグラフ	○	○	○		
	5章 指数関数と対数関数	加法定理	○	○	○		
後期末	6章 微分法と積分法	2倍角・半角・合成	○	○	○	【a】 ・三角関数の考え方や新しい角の考え方に興味を持ち、それらを身近な事象の考察に活用しようとする。 【b】 ・直線や円の方程式等の仕組みを理解し、図形と方程式の関係を多面的に考察、表現することができる。 【c】 ・図形や式の関連に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用しようとする。	① 授業態度 (1) 発言 (2) 取組状況 (3) 評価テスト ② 課題提出 (1) 提出状況 (2) 取組状況 ③ 定期考査
		指数の拡張	○	○	○		
		乗乗根	○	○	○		
		指数関数のグラフ	○	○	○		
		対数とその性質	○	○	○		
		対数関数のグラフ	○	○	○		
		常用対数	○	○	○		
後期末	6章 微分法と積分法	平均変化率と微分係数	○	○	○	【a】 ・微分法を用いて関数の増減を調べ、そのグラフを書くことができる。 ・グラフの上下関係や積分の範囲を図をもとにして考察し、面積を求めることができる。 ・関数を微分することができ、また、不定積分や定積分を求めることができる。 【b】 ・微分係数の図形的な意味を理解し、接線の方程式について考えることができる。 【c】 ・微分法や積分法の定義に関心を持ち、意味を考察して、事象に活用しようとしている。	① 授業態度 (1) 発言 (2) 取組状況 (3) 評価テスト ② 課題提出 (1) 提出状況 (2) 取組状況 ③ 定期考査
		導関数・接線	○	○	○		
		関数の増減	○	○	○		
		関数の極大・極小	○	○	○		
		方程式・不等式	○	○	○		
		関数の最大・最小	○	○	○		
		不定積分	○	○	○		
定積分・面積	○	○	○				

評価の重み付け

学期	評価の観点	重み付け	考査	考査以外
前期中間	知識及び技能	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
前期末	知識及び技能	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期中間	知識及び技能	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期末	知識及び技能	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30

令和8年度年間指導計画

岩手県立岩泉高等学校

教科	数学	学年	2	教科書	最新 数学B(数研出版)
科目	数学B	クラス	β コース	副教材	3ROUND数学Ⅱ・B(数研出版) チャート式 基礎と演習 数学Ⅱ・B
		単位数	2	担当者	佐々木 卓磨

学習目標	① 数列, 統計的な推測について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 数学と社会生活の関係について認識を深める。 ② 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用できる。				
学習方法	① 授業において自ら考え, また, 周りの生徒と共同で考えるグループワークやペアワークを行う。 ② 課題ノートを作成し, 授業内容についての課題に取り組む。また, 週末や長期休業等の課題に取り組む。 ③ 授業終了時や授業開始時に, 授業内容の復習及び課題内容の理解度を測るために小テストや振り返りを行う。				
学習評価	評価の観点		評価の趣旨		
	a	知識及び技能	数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活との関わりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		
	b	思考力・判断力・表現力	変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。		
	c	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
定期考査については, 上記 a, b, cの観点それぞれについて, 学習内容に応じて適切に配分しています。					

学期	単元(題材)	学習活動	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第1章 数列 第1節 数列とその和	1.数列	○	○	○	a:等差数列や等比数列について理解し, それらの一般項や和を求めることや, いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解できる。 b:事象から離散的な変化を見だし, それらの変化の規則性を数学的に表現し考察できる。 c:数列のよさを認識し, 数列を活用する態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が養われている。	①授業態度 (1)発言・話し合い (2)取り組み ②課題の取り組み状況 ③小テスト ④定期考査
		2.等差数列	○		○		
		3.等比数列	○		○		
		4.等比数列	○		○		
		5.和の記号 Σ	○		○		
		6.階差数列		○	○		
前期末	第1章 数列 第2節 漸化式と数学的帰納法	1.漸化式と一般項	○	○	○	a:漸化式について理解し, 事象の変化を漸化式で表したり, 簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたり, 数学的帰納法について理解できる。 b:事象の再帰的な関係に着目し, 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 数列の考えを問題解決に活用できる。また, 自然数の性質などを見出し, それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに, 他の証明方法と比較して多面的に考察することができる。 c:数列のよさを認識し, 数列を活用する態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が養われている。	①授業態度 (1)発言・話し合い (2)取り組み ②課題の取り組み状況 ③小テスト ④定期考査
		2.数学的帰納法		○	○		

後期中間	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	1.確率	○	○	○	a:標本調査の考え方について理解を深め, 確率変数と確率分布について理解することができる。また, 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解する。また, 正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解する。 b:確率分布や標本分布の特徴を, 確率変数の平均, 分散, 標準偏差などを用いて考察できる。目的に応じて標本調査を設計し, 収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして, 母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに, 標本調査の方法や結果を批判的に考察できる。 c:標本調査のよさを認識し, 標本調査を活用する態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が養われている。	①授業態度 (1)発言・話し合い (2)取り組み ②課題の取り組み状況 ③小テスト ④定期考査
		2.確率変数と確率分布	○		○		
		3.二項分布	○		○		
		4.確率密度関数	○		○		
		5.正規分布	○		○		
		6.二項分布と正規分布	○		○		
後期末	第3章 数学と社会生活	1.母集団と標本		○	○	a:社会生活などにおける問題を, 数学を活用して解決する意義について理解する。日常の事象や社会の事象などを数学化し, 数理的に問題を解決する方法を知ることができる。 b:日常の事象や社会の事象において, 数・量・形やそれらの関係に着目し, 理想化したり単純化したりして, 問題を数学的に表現できる。また, 数学化した問題の特徴を見出し, 解決できる。問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察することができる。解決過程を振り返り, そこで用いた方法を一般化して, 他の事象に活用することができる。 c:数学のよさを認識し, 数学を活用する態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が養われている。	①授業態度 (1)発言・話し合い (2)取り組み ②課題の取り組み状況 ③小テスト ④定期考査
		2.母平均の推定		○	○		
		3.仮説検定		○	○		
		1.ごみの量の推定		○	○		
		2.自転車のシェアリング		○	○		
		3.電気料金と省エネルギー		○	○		
4.平均気温と地球温暖化		○	○				
5.標高と気温の関係		○	○				
6.自転車が進むまでの距離		○	○				

評価の重み付け

学期	評価の観点	重み付け	考査	考査以外
前期中間	知識及び技能	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
前期末	知識及び技能	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期中間	知識及び技能	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期末	知識及び技能	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30

令和8年度年間指導計画

岩手県立岩泉高等学校

教科	理科	学年	2	教科書	化学基礎(数研出版)
科目	化学基礎	クラス	βコース	副教材	セミナー 化学基礎+化学(第一学習社)
		単位数	2	担当者	堤 友理江

学習目標	<p>化学基礎の学習を通して、次のことができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学校で学んだ内容をもとに、物質の構成と化学結合、変化について詳しく理解する。 ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ○観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ○物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 ○基本的な入試問題を解けるようになる。 	
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○授業において自ら考え、また、周りの生徒と共同で考える活動を行う。 ○授業内容についての演習問題に取り組む。また、週末や長期休業等の課題に取り組む。 ○実験機器、器具などの基本操作ができる。 ○化学基礎に関する基礎・基本を習得する。 	
学習評価	評価の観点	評価の趣旨
	a 知識及び技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識および技能を身に付けている。
	b 思考力・判断力・表現力	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
	c 主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
定期考査については、上記 a, b の観点それぞれについて、学習内容に応じて適切に配分しています。		

学期	単元(題材)	学習活動	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第1編 物質の構成と化学結合	第1章 物質の構成 純物質と混合物 物質とその成分 物質の三態と熱運動	○	○	○	<p>a 物質の性質を理解し、適切分離方法や元素検出方法をあげることができる。それらの方法を実践することができる。</p> <p>b 物質を分離する操作がどのようなものであるかや物質の違いを説明することができる。</p> <p>c 身のまわりの物質の性質や日常生活の中の物質の状態変化について興味をもっている。</p>	<p>①授業態度 ②演習プリント・レポート ③課題 ④小テスト ⑤定期考査</p>
	第1編 物質の構成と化学結合	第2章 物質の構成 原子とその構造 イオン 周期表	○	○	○	<p>a 原子の構成粒子、電子配置、イオン、イオン化エネルギー、周期表について理解している。</p> <p>b どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて説明できる。原子の電子配置から、その原子がどのようなイオンになりやすいかを判断できる。</p> <p>c 同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることや原子とイオンの違いについて興味をもっている。</p>	
前期末	第1編 物質の構成と化学結合	第3章 粒子の結合 イオン結合とイオン結晶 共有結合と分子配位結合 分子間にはたらく力 高分子化合物 共有結合の結晶 金属結合と金属結晶	○	○	○	<p>a 組成式を書く方法を理解している。各結晶の性質の違いを理解している。さまざまな分子を分子式や電子式、構造式で表しその構造を考えることができる。</p> <p>b 各結晶の性質や違いについて説明することができる。分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類できる。</p> <p>c 各結晶にはどのような物質があるかに興味をもっている。</p>	<p>①授業態度 ②演習プリント・レポート ③課題 ④小テスト ⑤定期考査</p>
	第2編 物質の変化	第1章 物質と化学反応式 原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応式と物質質量	○	○	○	<p>a 原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。実際の物質の量を物質質量で表せる。濃度の表し方について、いろいろな方法があることを理解している。正しい化学反応式が表せる。</p> <p>b 粒子の数・質量・気体の体積と物質質量に関する計算ができる。2種類の濃度の求め方を理解し、その換算ができる。化学反応式を用いて量的な計算を行うことができる。</p> <p>c 多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことが便利だということに気づく。化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができる。</p>	
後期中間	第2編 物質の変化	第2章 酸と塩基の反応 酸・塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩 中和滴定	○	○	○	<p>a 酸・塩基の定義や水溶液中のH⁺の濃度をpHで表す方法を理解している。中和反応を化学反応式で表すことができる。中和滴定で使用するホールピペット、ビュレット、メスフラスコなどの器具を正しく扱うことができる。</p> <p>b 酸と塩基を見きわめられる。塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。中和の量的関係を数式で表すことができる。滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。</p> <p>c 酸・塩基に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探索する。</p>	<p>①授業態度 ②演習プリント・レポート ③課題 ④小テスト ⑤定期考査</p>
後期末	第2編 物質の変化	第3章 酸化還元反応 酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用	○	○	○	<p>a 酸化還元反応の定義を理解している。酸化還元反応の様子を、色の変化をもとに判断できる。酸の違いによる金属の反応性を理解している。</p> <p>b 酸化数から酸化還元反応を判断できる。酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを説明できる。酸化還元反応の量的関係を計算により求めることができる。金属固有の性質をイオン化傾向で考えることができる。</p> <p>c 酸化還元反応に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探索する。</p>	<p>①授業態度 ②演習プリント・レポート ③課題 ④小テスト ⑤定期考査</p>

評価の重み付け

学期	評価の観点	重み付け	考査	考査以外
前期中間	知識及び技能	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
前期末	知識及び技能	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期中間	知識及び技能	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期末	知識及び技能	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30

令和8年度年間指導計画

岩手県立岩泉高等学校

教科	理科	学年	2	教科書	改訂版生物基礎(数研出版)
科目	生物基礎	クラス	βコース	副教材	新課程リードα生物基礎+生物(数研出版)
		単位数	2	担当者	佐々木 倫郎

学習目標	<p>生物基礎の学習を通して、次のことができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身の周りの生命現象に興味・関心をもつことができる。 ○グループ学習を通じ、自ら調べるとともに他と協力しながら学習内容を深めることができる。 ○実験・観察を通じ、探求の過程を身に付けることができる。
------	---

学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○授業において自ら考え、また、周りの生徒と協働して考える活動を行う。 ○長期休業等でレポートを提出し、時事に関心を寄せるとともに、問題解決能力を養う。 ○課題ノートや授業ノート、レポートの作成に工夫を加え、学習内容を整理する。 ○実験・観察の目的に沿った手法を他と協議しながら実施する。
------	--

学習評価	評価の観点		評価の趣旨		
	a	知識及び技能	生物や生命現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身に付けている。		
	b	思考力・判断力・表現力	生物や生命現象に関する問題を取り扱い、自然を科学的にとらえられる。		
	c	主体的に学習に取り組む態度	生物や生命現象を通して自然に対する探求心を持ち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探求する能力と態度を身に付けている。		
	定期考査については、上記 a, bの観点それぞれについて、学習内容に応じて適切に配分しています。				

学期	単元(題材)	学習活動	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第1章 生物の特徴	1生物の多様性と共通性 2エネルギーと代謝 3呼吸と光合成	○	○	○	<p>a 顕微鏡の各部の名称と役割を理解しているか。また良好な観察のために顕微鏡観察ができる。</p> <p>b DNA、ATP、細胞構造などが生物にとって重要なはたらきをもつことを理解し、説明できる。</p> <p>c ささまざまな生物や生命現象に対して興味・関心をもっている。</p>	①授業態度 ②演習プリント・レポート ③課題 ④小テスト ⑤定期考査
前期末	第2章 遺伝子とのはたらき	1遺伝情報とDNA 2遺伝情報の複製と分配 3遺伝情報と発現	○	○	○	<p>a タンパク質の構造を理解しているか。また、タンパク質合成の過程を理解している。</p> <p>b DNAのどのような特徴からそれが遺伝子の本体であると判断されるようになったかを科学的に考察し、表現することができる。</p> <p>c ささまざまな生物や生命現象に対して興味・関心をもっている。</p>	①授業態度 ②演習プリント・レポート ③課題 ④小テスト ⑤定期考査

後期中間	第3章 生物の体内環境とその維持	1体内での情報伝達と調節 2体内環境の維持のしくみ 3免疫のはたらき	○	○	○	<p>a 免疫の機構とそれにはたらく細胞の役割を正確に理解しているか。また解剖手順を正確にこなし、輸尿管、腎動脈、腎静脈、腎う等腎臓の構造を確認できる。</p> <p>b 体内環境を維持する複雑なしくみを理解し、それを説明することができる。</p> <p>c ささまざまな生物や生命現象に対して興味・関心をもっている。</p>	①授業態度 ②演習プリント・レポート ③課題 ④小テスト ⑤定期考査
後期末	第4章 植生の多様性とその保全	1植生と遷移 2植生の分布とバイオーム 3生態系と生物の多様性 4生態系のバランスと保全	○	○	○	<p>a 多様な植生について優占種や相親から分類し、植生遷移が起こるしくみを理解できる。</p> <p>b 無機的環境と生物間の複雑な関係によって生態系のバランスが保たれている事や、人間の活動がそれに大きな影響を与えつつあることを考える事ができる。</p> <p>c ささまざまな生物や生命現象に対して興味・関心をもっている。</p>	①授業態度 ②演習プリント・レポート ③課題 ④小テスト ⑤定期考査

評価の重み付け

学期	評価の観点	重み付け	考査	考査以外
前期中間	知識及び理解	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
前期末	知識及び理解	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期中間	知識及び理解	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30
後期末	知識及び理解	35	25	10
	思考力・判断力・表現力	35	25	10
	主体的に学習に取り組む態度	30	0	30

令和8年度年間指導計画

岩手県立岩泉高等学校

教科	保健体育	学年	2	教科書	現代高等保健体育(大修館書店)
科目	体育	クラス	βコース	副教材	
		単位数	2	担当者	田中館 洸・狐崎 亜実

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ○各運動における基本的な技術やルール、特性を理解し、安定して発揮する。 ○運動の課題を発見し、解決に向けて練習方法や戦術を工夫する。 ○積極的に運動に取り組み、継続し、協力・公正・責任といった態度を身に着ける。 	
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○運動の合理的、計画的な実践を通して、知識、技能を高める。 ○ペアやチームでの活動を通して、仲間と協力したり交流したりする。 ○教科書や副教材などから、競技のルールや健康、安全面についての理解を深める。 	
学習評価	評価の観点	評価の趣旨
	a 知識及び技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようする。
	b 思考力・判断力・表現力	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを伝える力を養う。
	c 主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学期	単元(題材)	学習活動	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	A 体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画 集団行動	○	○	○	a 運動を継続する意義、体力の構成要素、運動の原則を理解している。 b 自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 c 体づくり運動に主体的に取り組んでいる。健康・安全を確保しようとする。	観察 学習カード
	C 陸上競技	短距離走 跳躍 投てき	○	○	○	a: 体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、各種目の技術を身につけている。 b: 課題解決の過程を通し、取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝えている。 c: 主体的に取り組むルールやマナーと大切にしようとする。自己の責任を果たそうとする。	観察 スキルテスト 学習カード
前期末	E 球技 ア:ゴール型	バスケットボール	○	○	○	a: 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 安定したボール操作と空間を作る動きでゴール前への侵入などから攻防をする。 b: 運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 c: 主体的に取り組むフェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイを大切にしている。互いに助け合おうとしている。	観察 スキルテスト 学習カード
	E 球技 イ:ネット型	バレーボール	○	○	○	a: 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 安定したボールや用具の操作と連携した動きで空いた場所をめぐる攻防ができる。 b: 運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 c: 主体的に取り組むフェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイを大切にしている。互いに助け合おうとしている。	観察 スキルテスト 学習カード
	H 体育理論 2 運動・スポーツの学び方	1 技能と体力 2 技術と戦術	○	○	○	a 技能と体力は関連していること、体力の高め方や技術の学習の仕方を理解している。 技術や戦術、ルールは変わり続けていることを理解している。 b 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断し、他者に伝える。 c 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について主体的に取り組んでいる。	観察 提出物 筆記テスト
後期中間	G ダンス ウ:現代的なリズム のダンス	現在のリズムダンス グループ学習	○	○	○	a リズムの特徴を捉え、変化やまとまりを付け、リズムに乗り全身で踊ることができる。 b 合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 c ダンスに主体的に取り組んでいる。	観察 学習カード 発表会
	E 球技 ア:ゴール型	サッカー	○	○	○	a 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 安定したボール操作と空間を作る動きでゴール前への侵入などから攻防をする。 b 運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 c 主体的に取り組むフェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイを大切にしている。互いに助け合おうとしている。	観察 スキルテスト 学習カード
	E 球技 ウ:ベースボール型	ソフトボール	○	○	○	a バット操作と走塁での攻撃、ボール操作と状況に応じた守備によって攻防ができる。 b 運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 c 主体的に取り組むフェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイを大切にしている。互いに助け合おうとしている。	観察 提出物 筆記テスト
	H 体育理論 2 運動・スポーツの学び方	3 技能の上達過程と練習 4 効果的な動きのメカニズム	○	○	○	a 技能の上達過程には段階があり、過程に応じた練習・観察の方法があることを理解している。 b 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断し、他者に伝える。 c 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について主体的に取り組んでいる。	観察 提出物 筆記テスト
後期末	E 球技 イ:ネット型	卓球 バドミントン	○	○	○	a 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 安定したボールや用具の操作と連携した動きで空いた場所をめぐる攻防ができる。 b 運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 c 主体的に取り組むフェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイを大切にしている。互いに助け合おうとしている。	観察 学習カード
	H 体育理論 2 運動・スポーツの学び方	5 体カトレーニング 6 スポーツでの安全確保	○	○	○	a 体力とトレーニングの基本理論について理解している。 b 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断し、他者に伝えている。 c 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について主体的に取り組んでいる。	観察 提出物 筆記テスト

評価の重み付け

学期	評価の観点	重み付け	考查	考查以外
前期中間	知識・技能	30	0	30
	思考・判断・表現	30	0	30
	主体的に学習に取り組む態度	40	0	40
前期末	知識・技能	30	0	30
	思考・判断・表現	30	0	30
	主体的に学習に取り組む態度	40	0	40
後期中間	知識・技能	30	0	30
	思考・判断・表現	30	0	30
	主体的に学習に取り組む態度	40	0	40
後期末	知識・技能	30	0	30
	思考・判断・表現	30	0	30
	主体的に学習に取り組む態度	40	0	40

令和8年度年間指導計画

岩手県立岩泉高等学校

教科	保健体育	学年	2	教科書	現代高等保健体育(大修館書店)
科目	保健	クラス	βコース	副教材	現代高等保健体育ノート(大修館書店)
		単位数	1	担当者	狐崎 亜実

学習目標	<p>○健康に関する基礎的な内容を理解し、必要な技能を身に付け、実生活に生かす。</p> <p>○健康に関する課題を見つけ、考え適切に表現し、他者に伝えることができる。</p> <p>○健康について主体的に関わり、学び続けようとする姿勢を育てる。</p>	
学習方法	<p>○授業において自ら考え、また、周りの生徒と共同で考える活動を行う。</p> <p>○ノートや副教材等を利用し、授業内容についての理解を深め、課題や演習問題に取り組む。</p>	
学習評価	<p>評価の観点</p> <p>a 知識及び技能</p> <p>b 思考力・判断力・表現力</p> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>評価の趣旨</p> <p>現代社会と健康、社会生活と健康について、生涯を通じて健康の保持増進やそれを支える環境を考え、授業で得た知識を元に健康的な生活を送るための選択や活用ができる。</p> <p>健康についての自他や社会の課題を発見し、計画的な解決をに向けて思考し判断し、目的状況に応じて他者に伝えることができる。</p> <p>現代社会、安全な社会生活について理解し、主体的に学習に取り組もうとしている。</p>
	定期考査については、上記 a, b の観点それぞれについて、学習内容に応じて適切に配分しています。	

学期	単元(題材)	学習活動	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	3. 生涯を通じる健康	1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶	○	○	○	<p>生涯の各段階における健康や労働と健康について理解している。</p> <p>a</p> <p>生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できる。</p> <p>b</p> <p>生涯の各段階における健康や労働と健康について理解し、主体的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>c</p>	①授業態度 ②課題提出
		6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康 8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活	○	○	○	<p>生涯の各段階における健康や労働と健康について理解している。</p> <p>a</p> <p>生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できる。</p> <p>b</p> <p>生涯の各段階における健康や労働と健康について理解し、主体的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>c</p>	①授業態度 ②課題提出 ③定期考査

後期中間	4. 健康を支える環境づくり	1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁、土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみの処理と上下水道の整備 5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動	○	○	○	<p>健康を支える健康づくりである環境と健康や食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について理解している。</p> <p>a</p> <p>健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明できる。</p> <p>b</p> <p>健康を支える健康づくりである環境と健康や食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について理解し、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>c</p>	①授業態度 ②課題提出
		7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医薬品の制度とその活用 10. さまざまな保健活動や社会的対策 11. 健康に関する環境づくりと社会参加	○	○	○	<p>健康を支える健康づくりである環境と健康や食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について理解している。</p> <p>a</p> <p>健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明できる。</p> <p>b</p> <p>健康を支える健康づくりである環境と健康や食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について理解し、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>c</p>	①授業態度 ②課題提出 ③定期考査

評価の重み付け

学期	評価の観点	重み付け	考査	考査以外
前期中間	知識・技能	35	25	10
	思考・判断・表現			
	主体的に学習に取り組む態度			
前期末	知識・技能	35	25	10
	思考・判断・表現			
	主体的に学習に取り組む態度			
後期中間	知識・技能	35	25	10
	思考・判断・表現			
	主体的に学習に取り組む態度			
後期末	知識・技能	35	25	10
	思考・判断・表現			
	主体的に学習に取り組む態度			

令和8年度年間指導計画

岩手県立岩泉高等学校

教科	外国語	学年	2	教科書	Power On English Communication II (東京書籍)
科目	英語コミュニケーションII	クラス	βコース	副教材	チャックで英単語Standard(三省堂) 英語長文読解 Applause vol.1(美誠社)
		単位数	4	担当者	近藤 孝

学習目標	コミュニケーション英語Ⅲの授業を通して次のことができるようにする。 ①必要な情報を聞いたり、読んだりして、相手の意図を把握したり、概要、要点を理解することができる。 ②基本的な語句や文を用いて、情報や考え、意見を表現したり、伝えあったりすることができる。 ③グループワーク・ペアワーク等を通して相手のことを思いやった英語発信をすることができる。 ④日々の単語学習やペア・グループでのやりとり、発表などの活動に積極的に取り組むことができる。				
学習方法	①毎時のゴールに向かい見通しをもって学習に取り組む。 ②ゴール達成のために必要な知識・技能や理解・表現力などを養うために4技能を統合して学習する。 ③積極的に英語を用いてペア・グループでの言語活動に取り組む。 ④日々の単語学習やワークブックを用いての授業内容の復習を徹底する。				
学習評価	評価の観点 当該科目の評価の趣旨				
	a 知識・技能	外国語の語彙や表現を理解し、活用できる技能を身に付けている。			
	b 思考・判断・表現	外国語で情報や考え、相手の意図を理解したり、適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	c 主体的に学習に取り組む態度	外国語での言語活動を積極的にに行い、コミュニケーションを図ろうとしている。			
定期考査については、上記a,bの観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。					

学期	単元(題材)	学習活動	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	Lesson 1 Play me, I'm Yours	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a 助動詞、受け身、S+V+Cを用い、情報や自分の考えを伝えることができる。 b ストリートピアノと人々・社会とのかわりについて読み、情報や自分の考えを表現できる。 c ストリートピアノと人々・社会とのかわりについて、必要な情報や意図を把握しようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Lesson 2 Ethical Fashion	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a SVOC, 知覚動詞、使役動詞を用い、情報や自分の考えを伝えることができる。 b ファストファッションの問題やエシカルファッションについて読み、情報や自分の考えを表現できる。 c ファストファッション問題やエシカルファッションについて、情報や意図を把握しようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Lesson 3 One for All, All for One	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a 現在完了、過去完了、仮定法if節を用い、情報や考えを伝えることができる。 b マイケル・リーチ選手について読み、情報や自分の考えを表現できる。 c マイケル・リーチ選手について、情報や意図を把握しようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
前期末	Lesson 4 Vending Machines	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a 主格・目的格の関係代名詞及び非制限用法を用い、情報や考えを伝えることができる。 b 日本と海外の自動販売機について読み、情報や自分の考えを表現できる。 c 日本と海外の自動販売機について、情報や意図を把握しようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a 助動詞+受け身、SV分詞、名詞節、It seems [appears]を用い、情報や考えを伝えることができる。 b ブレイルノイエについて読み、情報や自分の考えを表現できる。 c ブレイルノイエについて、情報や意図を把握しようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Lesson 6 New Banknotes	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a It is said that, It is 形容詞 that/to不定詞、助動詞+have+ppを用い、英語で表現できる。 b 新紙幣とキャッシュレス社会について読み、情報や自分の考えを表現できる。 c 新紙幣とキャッシュレス社会について、情報や意図を把握しようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト

後期中間	Lesson 7 Some Secrets about Colors	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a 所有格・同格の関係詞、前置詞+関係代名詞、whereの非制限用法を用い、英語で表現できる。 b 色の心理的効果について読み、情報や自分の考えを表現できる。 c 色の心理的効果について、情報や意図を把握しようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a 強調の文、関係代名詞which, to have 過去分詞を用い、英語で表現できる。 b 納豆パウダーについて読み、情報や自分の考えを表現できる。 c 納豆パウダーについて、情報や意図を把握しようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
後期末	Lesson 9 Flying after Her Dreams	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a althoughの文、no matter 疑問詞、分詞構文を用い英語で表現できる。 b ベシー・コールマンの経歴や人物像について読み、情報や自分の考えを表現できる。 c ベシー・コールマンの経歴や人物像について、情報や意図を把握しようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a 過去完了進行形、be to不定詞、未来完了、insist thatを用い、英語で表現できる。 b 各種ロボットやロボットの労働内容の変化について読み、情報や自分の考えを表現できる。 c 各種ロボットやロボットの労働内容の変化について、情報や意図を把握しようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト

評価の重み付け

学期	評価の観点	重み付け	考査	考査以外
前期中間	知識・技能	40	25	15
	思考・判断・表現	40	25	15
	主体的に学習に取り組む態度	20	0	20
前期末	知識・技能	40	25	15
	思考・判断・表現	40	25	15
	主体的に学習に取り組む態度	20	0	20
後期中間	知識・技能	40	25	15
	思考・判断・表現	40	25	15
	主体的に学習に取り組む態度	20	0	20
後期末	知識・技能	40	25	15
	思考・判断・表現	40	25	15
	主体的に学習に取り組む態度	20	0	20

令和8年度年間指導計画

岩手県立岩泉高等学校

教科	英語	学年	2	教科書	EARTHRISE English Logic and Expression II Standard (数研出版)
科目	論理・表現Ⅱ	クラス	βコース	副教材	LEARNER'S ラーナーズ高校英語(数研出版) LEARNER'S ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGES(数研出版)
		単位数	2	担当者	箱石 典子

学習目標	論理・表現Ⅱの授業を通して次のことができるようにする。 ①日常的な話題や社会的な話題について、目的や場面、状況に応じて適切に話して伝えることができる。 ②日常的な話題や社会的な話題について、目的や場面、状況に応じて適切に書いて伝えることができる。 ③グループワーク・ペアワーク等を通して相手のことを思いやった英語発信をすることができる。 ④ペア・グループでのやりとり、発表などの活動に積極的に取り組むことができる。	
学習方法	①毎時のゴールに向かい見通しをもって学習に取り組む。 ②ゴール達成のために必要な知識・技能や理解・表現力などを養うために4技能を統合して学習する。 ③積極的に英語を用いてペア・グループでの言語活動に取り組む。 ④ワークブックを用いての授業内容の復習を徹底する。	
学習評価	評価の観点	当該科目の評価の趣旨
	a 知識・技能	外国語の語彙や表現を理解し、活用できる技能を身に付けている。
	b 思考・判断・表現	外国語で情報や考え、相手の意図を理解したり、適切に表現したり伝え合ったりしている。
	c 主体的に学習に取り組む態度	外国語での言語活動を積極的にに行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
定期考査については、上記a,bの観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。		

学期	単元(題材)	学習活動	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	Part 1 Lesson1 How interesting Japanese culture is	文法 リスニング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 日本文化について、現在完了形を用いて適切に伝える技能を身に付けている。 b: 日本文化について、適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 日本文化について、相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Part 1 Lesson2 Wonderful places to visit in Japan	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 日本の観光地について、様々な助動詞を用いて適切に伝える技能を身に付けている。 b: 日本の観光地について、適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 日本の観光地について、相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Part 1 Lesson3 Precious water for all	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: パーチャル・ウォーターの量について、受動態を用いて適切に伝える技能を身に付けている。 b: パーチャル・ウォーターの量について、適切に話したり書いたりして伝えている。 c: パーチャル・ウォーターの量について、相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Part 1 Lesson4 What has happened recently	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 自分の好きなニュースについて、不定詞及び動名詞を用いて適切に伝える技能を身に付けている。 b: 自分の好きなニュースについて、適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 自分の好きなニュースについて、相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
前期末	Part 1 Lesson5 I'm into music and movies!	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: お気に入りの映画について、分詞構文を用いて適切に伝える技能を身に付けている。 b: お気に入りの映画について、適切に話したり書いたりして伝えている。 c: お気に入りの映画について、相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Part 1 Lesson6 Where do you usually buy clothes?	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 自分が欲しい服について、関係代名詞を用いて適切に伝える技能を身に付けている。 b: 自分が欲しい服について、適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 自分が欲しい服について、相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Part 1 Lesson7 What kind of books do you like best?	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 好きな本のジャンルについて、比較級を用いて適切に伝える技能を身に付けている。 b: 好きな本のジャンルについて、適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 好きな本のジャンルについて、相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Part 1 Lesson8 Inventions that changed the way we live	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 私たちの生活を大きく変えた発明について、仮定法を用いて適切に伝える技能を身に付けている。 b: 私たちの生活を大きく変えた発明について、適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 私たちの生活を大きく変えた発明について、相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
後期中間	Part 2 Lesson1 Can you come to our party?	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 感謝や謝罪の表現を適切に伝える技能を身に付けている。 b: 感謝や謝罪の表現を適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 感謝や謝罪の表現を相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Part 2 Lesson2 I'm sure you can make it!	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 友だちを励ます表現を適切に伝える技能を身に付けている。 b: 友だちを励ます表現を適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 友だちを励ます表現を相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Part 2 Lesson3 How about trying this food?	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 勧誘や提案表現を適切に伝える技能を身に付けている。 b: 勧誘や提案表現を適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 勧誘や提案表現を相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Part 2 Lesson4 Tips for staying healthy	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 助言や忠告の表現を適切に伝える技能を身に付けている。 b: 助言や忠告の表現を適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 助言や忠告の表現を積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
後期中間	Part 2 Lesson5 I'm taking part in volunteer activities tomorrow	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 依頼の表現を適切に伝える技能を身に付けている。 b: 依頼の表現を適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 依頼の表現を相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Part 2 Lesson6 Where would you like to visit in the future?	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 賛成や反対の表現を適切に伝える技能を身に付けている。 b: 賛成や反対の表現を適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 賛成や反対の表現を相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト
	Part 2 Lesson7 Which candidate is the right person?	単語・文法 リスニング・リーディング ライティング・スピーチ	○	○	○	a: 意見を述べる表現を適切に伝える技能を身に付けている。 b: 意見を述べる表現を適切に話したり書いたりして伝えている。 c: 意見を述べる表現を相手に積極的に伝えようとしている。	①授業内活動 ②小テスト ③定期考査 ④パフォーマンステスト

評価の重み付け

学期	評価の観点	重み付け	考査	考査以外
前期中間	知識・技能	40	25	15
	思考・判断・表現	40	25	15
	主体的に学習に取り組む態度	20	0	20
前期末	知識・技能	40	25	15
	思考・判断・表現	40	25	15
	主体的に学習に取り組む態度	20	0	20
後期中間	知識・技能	40	25	15
	思考・判断・表現	40	25	15
	主体的に学習に取り組む態度	20	0	20
後期末	知識・技能	40	25	15
	思考・判断・表現	40	25	15
	主体的に学習に取り組む態度	20	0	20